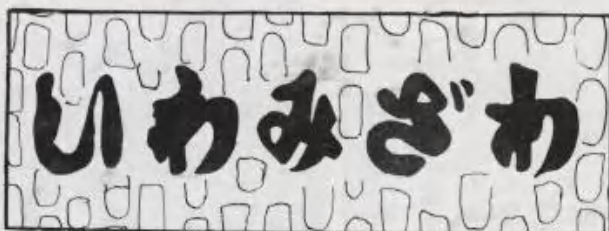


月間目標

- 10月 火災予防
- 11月 冬季態勢の確立
- 12月 服務規律刷新



発行所 陸上自衛隊岩見沢駐屯地
 ひので会
 印刷所 北海道立福祉村
 空知郡栗沢町字最上350番地
 電(0126)45-2721

六十年度団長訓練検閲終る

終戦記念日に状況開始



第十二施設群は、八月十五日(八月十八日の間、第三施設団長(小谷将補)の実施する訓練検閲を受閲した。

課目は、敵先遣部隊を駆逐して、方面隊の進出掩護に任ずる師団を支援する施設群の行動で、上富良野演習場、北海道大演習場恵庭地区及び孫別演習場を舞台に、三夜四日の連続状況下で行なわれた。

団長検閲を受閲するにあたって、群長の要望事項は、「全員最後まで士気旺盛に挑戦しよう」をスローガン

に、一、所命任務の完遂、二、各級指揮官の的確な命令指示、三、戦闘基礎動作の確行の三項目であった。

各部隊は、五日前の八月十日に着任を終えたばかりの新群長のもと全員一丸となって任務にまい進した。

十五日(十六日)、第三三六施設中隊、第三三七施設中隊は、猛暑の中、上富良野において果敢に第一線連隊の攻撃支援、第三三五施設中隊は、北海道大演習場恵庭地区において、全長百八米におよぶM4A2とパネル、自走浮橋による三種混合重浮橋の架設、第三〇

一地区施設隊も恵庭地区において、全長三十、五米のパネル橋(DS)中間橋脚

パネル(TS)を架設、第三二二施設器材中隊は、孫別演習場において、ホーク部隊の展開路を構築及び各所において機力支援、整備支援を行なった。

各部隊とも所定の任務を完遂し、十六日夕刻、群全力が上富良野演習場に集結し、防衛支援へと移行した。



第三三五施設中隊は、射撃指揮所(CM製)及び連隊指揮所(四、五CMに二、五CMの接続)を構築、第三三六施設中隊並びに第三三七施設中隊は、一〇六無反動砲掩蔽所、同射撃用掩蔽、地雷原、対戦車用掩蔽をそれぞれ構築、第三一二施設器材中隊は、特科用掩蔽、対戦車壕を構築、第三〇一地区施設隊も、一〇六無反動砲掩蔽所、同射撃用掩蔽を構築、全部隊が所命任務を完遂し、六〇訓練周期を締めくくるにふさわしい成果を得て無事終了した。

第六代群長兼 駐屯地司令着任



蛸原 1 佐

第十二施設群は、歴代の大隊長あるいは、群長の極めて卓越した統率によって輝かしい伝統を保持しつつ、北海道の最精鋭部隊として、年々着実に成果を収めていることを耳にしています。この輝かしい伝統を持ちつつ、防衛上極めて重要な意義を持つ、第十二施設群

第十二施設群は、歴代の大隊長あるいは、群長の極めて卓越した統率によって輝かしい伝統を保持しつつ、北海道の最精鋭部隊として、年々着実に成果を収めていることを耳にしています。この輝かしい伝統を持ちつつ、防衛上極めて重要な意義を持つ、第十二施設群

現在、国内外情勢は、複雑微妙で、我々の使命は特段に重要性を増している情勢であり、かかる時こそ、我々は上下心を一にして強固な団結、厳正な規律、旺盛な士気をもって、いついかなる事態にも即応し、任務を完遂できるようにしておかなければならない。

愛知県出身、防大四期、陸幕、第四施設団高級幕僚から着任。北海道は、小隊長時代の帯広、大隊長時代の真駒内と三度目の勤務。趣味 T、G、M

(略歴)

射撃競技会(10月30日)

持続走競技会(10月31日)



V2を我が手で

必勝

創立記念行事

秋晴れに千三百人集う

駐屯地は、創立三十二年記念並びに主力部隊である第十二施設群創隊十周年



記念式典及び祝賀会が十月六日、高橋辰夫衆議院議員はじめ、空知支庁長・岩見



沢市長・三笠市長・栗沢町長・月形町長・北村長の隊区内、各市町村長、官公庁署(所)長、隊区内、各自衛隊協力会長、OB、隊員の家族等多数の来賓を招き盛大に行なわれた。

式典は、おからの好天に恵まれ十時三十分開始された。巡閲、司令の式群、来賓のお祝いの言葉、協働関係者等への感謝状の贈呈、最後に各部隊の糸乱れぬ正々堂々としたパレードで式典は終了した。引き続き音楽隊の演奏、場所をもちじ池に移し、千三百名の見学者の見まもるなか、ヘリコプターを駆使したレンジャー隊員によるリペリン

司令雑感

美の再発見

ここの岩見沢に着任してから二ヶ月近くなるうとして、その間、札幌はもとより、恵庭・岩見沢周辺の石狩平野、富良野、旭川、名寄まで足を伸ばし、空からも見た北海道、どこまでも拡っている。

八月十五日、暑さの真只中を迷彩服に身を固め、顔料を塗ってしかもオーブンカーに乗って、お盆休みに渋滞している国道十二号線を北上、車窓から振り返ってみる者、カメラを向ける者あり、ドラマの主役になったようなヒロイズムとテ

レ奥さを感じながら過した三日三晩の猛訓練、しかしそんな中にも孫別演習場のカラ松林、富良野高原の白樺並木、星降る夏の夜空等、何と美しかったことか。

人間の知能因子には約百二十種あるといわれ、そのうち測定可能なものが四十七種、測れないもの(人の心、美しさ、善意、創造力、勇気等)が約七十種と云われ、殆んどが埋れているといふ。

駐屯地では、夜が明けるとともに太陽と緑と澄み切った空気の中、若者達が声を出しながら販足をします。その躍動美、こういった日常の身近かな生活が、何とも美しく感じさせてくれる。北海道の自然美は心を豊

測定可能な因子はコンピユーターに任せるとして、あとの七十種の因子を刺戟することによって益々豊かな人生を送れるのではないかと虎視眈眈としている心境である。(嵯原康治)

部隊長等紹介

- 高柳 正雄氏 (岩見沢市)
- 倉増 昭一氏 (岩見沢市)
- 故中村喜三郎氏 (三笠市)
- 片桐 源太郎氏 (三笠市)
- 今川 茂氏 (栗沢町)
- 伊藤 正次郎氏 (北村)
- 「援護関係」
- 浅野 勝三氏 (岩見沢市)
- 岡本 高則氏 (三笠市)
- 「環境美化」
- 齋藤 和朗氏 (岩見沢市)
- 佐藤 富次氏 (岩見沢市)

岩見沢紹介

(岩見沢神社)

岩見沢神社の由来は、明治十七年・十八年の両年にわたり、山口・鳥取等十二県下の土族婦農者の二七七世帯の人々が開拓に入地したが、人里離れた、未開の原始林に二年にわたり点々として来住したのと、作業も予想以上に困難なため、人々の心は浮つき、郷愁の念にかられた。

こういった人心浮動の折柄、明治十八年八月総員の入地を機会に、今の元町、幾春別川左岸(狩野橋上流)に多数の村民が参加して神祭りを行なったのが岩見沢

その2

神社の始めて、翌明治十九年小祠を建て、氏神祭りを最大の年中行事として、人心の安定と融和を図り、心の寄り所として今日の隆盛の基礎を作った。

明治三十年、敬神家より市街地南方高燥の地(現在の地)に一、八五三坪の寄進を受け造営、明治三十年九月十四日に上棟式を行ない十五日を例祭日と定めた。以来時運の進むにつれ境内等も次々と拡張し、空知一の宮として広く崇敬されている。

国をまもる防衛庁職員のための

- ◎ 家族保障保険
- ◎ ニューライフサイクル
- ◎ 終身保険やすらぎ

協栄生命

担当 高橋ひさ子、木村純子、佐武留美子

宝石 創業77年 貴金属

(株)太田時計眼鏡店

岩見沢市一条西四丁目
TEL 0126-223353-223354

サンブラザウエディングプラン

華燭

※式から披露宴までのすべてをセットしてこの価格!

ご両家ご負担 200,000円

★会費お1人様6,500円×人数+200,000円(ご両家ご負担)
信頼できる式場で安心の結婚式

ホテル **ザンブラザ**

岩見沢市4条東1丁目 ☎23-7788

市民大会等で

大活躍

◎ 第二回豊頃町サーモンマ

ラソン大会 (四八六名)

(四二、一九五キロ)

三十五歳以下

優勝 三三五 有馬 二曹

九位 三三六 柴田 士長

(十キロ)

七位 三三五 山口 三曹

十位 三三六 田中 一曹

◎ 第三回岩見沢健康マラソ

ン大会 (一四五名)

(二十キロ)

優勝 三三五 有馬 二曹

三位 本 中 佐藤 三曹

六位 本 中 佐藤 二曹

七位 本 中 開藤 三曹

(十キロ)

三位 会計隊 安達 士長

五位 会計隊 深町 三曹

(五キロ、女子)

二位 業務隊 林 直子

◎ 第三回さっぽろ森林浴マ

ラソン大会(%) (二三四名)

(二十キロ)

九位 三三六 柴田 士長

(十キロ) (五二八名)

六位 三三七 下浅 二曹

十位 三三七 石川 三曹

◎ 岩見沢市民ロードレ

ス(%)

(十キロ)

二十五歳以下

優勝 施器中 豊田 士長

三十五歳以上

優勝 本 中 赤井 二曹

(五キロ)

二十五歳以下

優勝 会計隊 安達 士長

三十五歳以下

優勝 会計隊 深町 三曹

四十五歳以上

優勝 業務隊 中山 一曹

市民水泳大会成績(%)

50平20代一位三三六上原三曹

50自20代一位会計安達士長

50背20代一位会計安達士長

怪物君紹介



有馬 2曹

わが中隊の怪物君を紹介
します。

その人の名は、有馬民男
二曹、鹿児島県出身、二十
九歳、愛妻と一男一女の四
人家族、中隊所属今年三月
十六日、走るために生まれ
て来たようなマラソンラン
ナーである。

三月十六日付で来岩し、
四月二十九日、岩見沢市民
マラソンでの五キロメート
ル優勝を初め、七月十四日
同じく市民マラソン五キロ
メートルに優勝、オホーツ
ク国際マラソンでは七位、
七月二十八日全道オロロン
ラインマラソン十キロメー
トルで二位、八月四日グリ
ーン石狩川マラソン二十キ
ロメートル優勝、九月八日
夕張ジョギングマラソン八

キロ優勝、九月十五日豊頃
サーモンマラソン(四二、
一九五キロメートル)優勝、
と走り走りまわっている
栄光のランナーである。
走るしか能のない奴かと
思われては心外、顔よしス
マイルよし(若干頭に白い
ものがチラチラするが)頭
の切れ味よしで、積極誠実
研究熱心な好青年である。
われわれ凡人は、出来る
ことなら走ることから逃げ
たいものであるのに、来岩
以来大会での走行キロ百九
十キロメートルを越え、優
勝五回、二位、七位各一回
と輝かしい成果を収めてい
る。

団内の皆さんには、十月
三十日の団持続走競技会で
ペールを脱ぎます。
第十二施設群のトップラ
ンナー、V2へのけん引車
有馬二曹に御期待下さい。
第三三五施設中隊
大宮 一曹

会計隊大活躍

九月二十六日、真駒内駐
屯地において行なわれた北
部方面会計隊持続走競技会
において、わが駐屯地の第
三二七会計隊がBグループ
で優勝した。

第三二七会計隊は、昨年
僅差で借しくも優勝を逃し
準優勝に甘んじたが、今年
度は昨年の雪辱を晴らすべ
く、春から零細な時間を利

用し練習を重ねて来た。

八月の定期異動で永田隊
長に代った高橋隊長もこれ
を受け継ぎ、要望事項の中
に体力の練成が掲げられ、
練習にも一段と熱が入った。
競技は、十一個チームが
同時にスタートし平均タイ
ムを競うもので、小雨降る
なかを乙武装の各選手達は
約四キロメートルのコース
を抜きつ抜かれつ激しいレ
이스を展開したが、結局わ
が第三二七会計隊が二位に
平均で二十一秒の差を付け
優勝した。なかでも安達士
長は、陸士の部最高ラツプ
で昨年に続き個人優勝し団
体優勝に大きく貢献した。



レンジャーズ

優勝

第三三六施設中隊野球部
レンジャーズは、創部十年
目を迎え、今年は一つの結
節の年であり何か一つタイ
トルを取ろうということだ
部員の意欲も高まり、各種
大会にできるかぎり出場し

て来たが、訓練、勤務等の
都合で満足できるチーム編
成ができず勝運に恵まれな
かったが、市民野球大会B
級においては、市内のクラ
ブチームを次々に破り、創
部以来の念願であった初優
勝を飾ることができました。
試合は、一回戦以外は全
部一点差という接戦で苦し
い大会でした。
中でもエースの木村士長、
打と守備の田川士長、一塁
に出れば必ず三塁まで走り、
一番多くホームに帰って来
た上杉二曹等が活躍してく
れた。その他試合ごとにヒ
ーローが入れ替り、文字ど
おりチームが一丸となって
優勝を獲得しました。
来年度は、A級に格上げ
になりますが、今度は全道
大会めざし頑張ろうと思っ
ます。
「レンジャーズ主将
田中 均」



大切な車を
予防整備で守りましょう。
—コンピューターによるエンジン診断—
くるまのことなら…
ホクレン・ローンで
日帰り 求めて安心の
の車検 新車、中古車、の販売
岩見沢機械センター
岩見沢市4条東15丁目
TEL 22-4421

パワー
3,000
担当 遠藤 瑠美
安田生命
オーダー終身保険 (重点特別保障タイプ)

ただ操るのではなく、ただ車に身をまかすのではなく、
人と車のインタープレーヤー。
より個人的に 貴男の アドバイザーが
大和マイカーセンター
代表 吉田 金清
マイカーセンター/岩見沢市9条西21丁目(ダイエー横)
☎(0126) 25-2024
自宅/岩見沢市北2条西20丁目26(夜間)☎24-4576

栄光をたたえ

(職務遂行、三級賞状)
一等陸佐 高橋 英紀
(8月7日)

岩見沢軟式野球連盟からの表彰
(審判員としての功績)
三三七 吉良 一曹
業務隊 扇 技官

(優秀選手として)
(B部門ベストナイン)
投手 (レンジャーズ)

三三六 木村 士長
外野手(ブレイボーイズ)
本中 開藤 三曹
*北海道自衛隊バレーボール大会
十月六日 千歳市スポーツセンターで十八個チームが参加して開催された、駐屯地からは大庵二曹以下九名が参加し五十七年につづき二度目の優勝を果たした。

昇任

おめでとう

陸士長へ

三三七 川村 一尉

一曹 陸士へ

三三五 藤澤 高志

三三六 似島 由美

三三六 三澤 剛

三三七 近藤 勝彦

三三七 飯田 広明

三三七 河野 裕文

三三七 福田 一久

三三二 堀田 明

人事往来

転出者

十二施設群

一佐 高橋 英紀(勝田)

二尉 池田 哲夫(南恵庭)

曹長 高尾 八朗(古河)

一曹 末永 孝弘(苗穂)

二曹 桑原 義輝(札幌連)

二曹 楠本 竹幸(飯塚)

二曹 葛西 未行(島松)

二曹 伴 輝昭(札幌連)

三曹 嶋本 章(和歌山)

三曹 村上 治雄(名寄)

三曹 米田 正伸(名寄)

曹長 林 警助(旭川)

士長 高橋 一郎(新町)

業務隊

二佐 大村 了(札幌)

一尉 永田 隆泰(札幌)

二尉 島田賢太郎(東千歳)

一曹 松田勇輝雄(真駒内)

一曹 江口真一郎(都郷)

二曹 瀬尾 力登(福岡)

二曹 松本 孝司(宇治)

三曹 谷内 倫美(大津)

一五 宮田 弘幸(北恵庭)

一六 須古 邦雄(美明)

一六 三沢 克美(俱知安)

十二施設群

一佐 姥原 康治

(大久保一隊長)

一尉 城岡 芳美

(札幌連一三二二)

一尉 野村 洋二

(真駒内一詳本中)

一曹 川崎 忠夫

(札幌連一三三六)

二曹 三輪 正人

(海田市一詳本中)

業務隊

二佐 黒川 俊郎

(東千歳一業務隊長)

一尉 高橋 政明

(旭川一会計隊長)

一尉 前田 米蔵

(滝川一募集所長)

一曹 杉本 勝男

(函館一警務隊)

二曹 田中 和信

(福岡一基通隊)

一五 西沢 良治

(豊平一厚生科)

一六 田中 守

(北千歳一厚生科)

おめでとう

新婚さん

岡本 美弘・恭子
(10月6日)

愛妻弁当ノ

毎日ルンルン

こんにちは

赤ちゃん

佐藤 克二

二男 靖久

(8月28日)

(次はキッパ)

女の子だ



永い間御苦勞

さまでした

定年退官

(7月30日)

*第三〇一地区施設隊

陸曹長 時田 勝實

就職先

名寄市東三条北三丁目一

十五番地(二一七四五)

就職先

旭川日産モーター株式会社

(名寄市字徳田一〇五番地)

*第三三七施設中隊

二等陸尉 川上 和男

(8月25日)

岩見沢市美園町四条八丁目

三十七番地

(二二一四一四二)

就職先

馬淵建設株式会社

(岩見沢市鳩ヶ丘二丁目十

六番地)

*詳本中隊

三等陸尉 望月 真

(9月18日)

岩見沢市志文町二〇五一五

〇(二四一六二九)

就職先

ホクレン岩見沢支所

(岩見沢市五条西五丁目)

*第三一二施設器材中隊

三等陸尉 松崎 一美

(9月26日)

岩見沢市日の出南二丁目一

一十四(二三一八〇二)

就職先

武蔵商事株式会社

(岩見沢市一条西一丁目九

番地)

*第三一二施設器材中隊

陸曹長 岡部 久

(9月26日)

岩見沢市栄町五丁目七十一

五(二四一四一四二)

就職先

北海道地区新聞公正取引協

議会空知支部協議会事務局

(岩見沢市鞆町一丁目五)

*基地通信隊

陸曹長 池田 郁造

(10月15日)

岩見沢市美園一条二丁目三

十(二三一六四二七)

就職先

東栄マンション

(岩見沢市美園三条四丁目)

*第三〇一地区施設隊

陸曹長 出口 和男

(10月4日)

名寄市西八条北二丁目十七

番地(三一五七九四)

就職先

松沢光学株式会社

(名寄市字大橋)

サクラカラー百年プリント

カメラの田沢

(ビデオテープ・カセットテープ)
特価販売中!!

岩見沢市1条西4丁目
TEL (22) 4848

フレールチェーン岩見沢店



レガン

岩見沢市3条西2丁目

お支払いはクレジットで
らくらくローン
月々3,000円より36回
即決ローンもOK!!
メガネも同時ご奉仕中

=テレホンショッピング=
<ご注文は>
☎(0126) 22-1640

中国風パブスナック

里



岩見沢市3条西1丁目 ☎23-2533
25-0631

縁故援護

あなたの身内、先輩、
後輩、知人の勤務先で求
人募集はありませんか?
身の回りの人達に積極的
に問いかけ、退職隊員に
就職の道を拓いていこう。
誠意で奉仕する援護セ
ンターに連絡して下さい。

電話 376番